

EB-G5950

セットアップガイド

- 目次 -

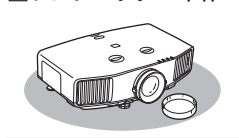
説明書の構成	2
設置する	3
投写映像を調整する	4
映像機器と接続する	7
コンピューターと接続して投写する	8
インジケーターの見方	10
リモコンの使い方	12



下記のチェックリストをご覧になり、同梱品を確認してください。

万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

プロジェクター本体



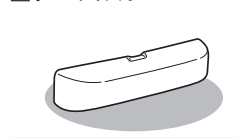
リモコン



単三形乾電池



ケーブルカバー



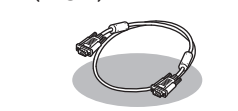
レンズユニット取外し
ボタン固定ネジ
(プラスネジ M3 L6)



電源ケーブル
(日本国内専用 約 3m)



コンピューターケーブル
(1.8m)



『Epson Projector
Software』 CD-ROM



お客様情報
+ 正式保証書発行カード
 返信用封筒



パスワードプロテクト
シール※



※ お買い上げ時は
パスワードが設
定されていま
せん。パスワ
ードプロテク
トの設定後、
本体に貼
付します。



41193400

説明書の構成

本機を安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアルをよくお読みください。
不明な点をいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保存してください。

本機には次の説明書が添付されています。以下の順番でお読みください。

① 『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』

本機を安全にお使いいただくための注意事項やサポートとサービスのご案内が記載されています。本機をお使いいただく前に必ずご覧ください。



② 『セットアップガイド』（本書）

本機を使い始めるまでの準備（同梱品の確認・コンピューターやビデオ機器との接続）と投写開始時の基本操作について記載しています。



③ 『Document CD-ROM』

● 『取扱説明書』（PDF）

便利な機能、環境設定メニューの使い方、困ったときの対処方法、お手入れの方法などについて記載しています。

● 『EasyMP Network Projection 操作ガイド』（PDF）

● 『EasyMP Multi PC Projection 操作ガイド』（PDF）

● 『EasyMP Slide Converter 操作ガイド』（PDF）

添付の『Epson Projector Software』CD-ROM に収録されているアプリケーションソフトの使い方を記載しています。

● 『PC Free 操作ガイド』（PDF）

画像や動画ファイルを保存した USB 機器を接続して投写する機能「PC Free」の使い方を記載しています。

※ Document CD-ROM には、PDF 版の『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』と『セットアップガイド』も収録されています。



● Document CD-ROM 内の説明書の見方 ●

コンピューターの電源を入れ、CD-ROM ドライブに Document CD-ROM をセットします。

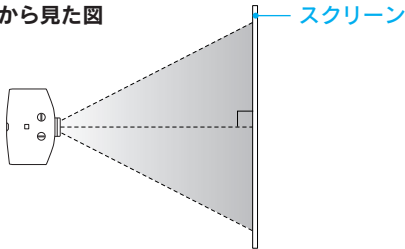
Document CD-ROM に収録されている PDF マニュアルのバージョンは PDF1.4 です。この PDF マニュアルをご覧いただくには Adobe Reader が必要です。

設置する

本機をスクリーンに対して平行に設置すると、最も投写映像が鮮明です。

本機をスクリーンの正面に設置できないときは、レンズシフトで映像を投写する位置を調整できます。▶ p.5

上から見た図



本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



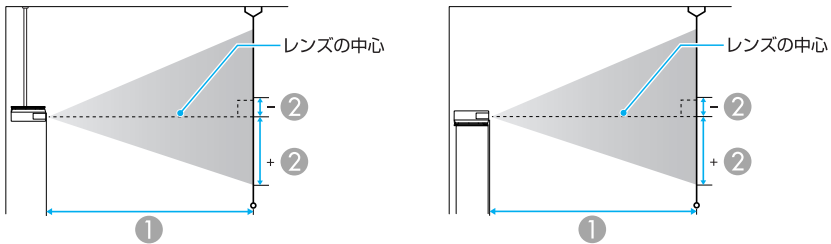
本機を縦置きや下向きの状態で投写しないでください。故障の原因となります。

※ 天井への取り付け（天吊り設置）は、特別な技術が必要です。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

■スクリーンサイズと投写距離

下表は、標準レンズを装着して4:3スクリーンに投写するときの投写距離です。下表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさに映るように設置してください。値は目安です。

16:9スクリーンに投写するときや、オプションレンズを装着して投写するときは、添付の『レンズ別投写距離表』を参照してください。



① 投写距離 ② レンズの中心から映像下端までの高さです。上下レンズシフトの設定により変わります。

単位：cm

スクリーンサイズ (4:3)		①	②
		最短 (ワイド) ～最長 (テレ)	上下レンズシフト 最上～最下
30 型	61X46	77 ~ 142	0 ~ +46
40 型	81X61	104 ~ 190	0 ~ +61
50 型	100X76	131 ~ 239	0 ~ +76
60 型	120X90	158 ~ 287	0 ~ +91
80 型	160X120	213 ~ 385	0 ~ +122
100 型	200X150	267 ~ 482	0 ~ +152
120 型	240X180	321 ~ 579	0 ~ +183
150 型	300X230	403 ~ 725	0 ~ +229
200 型	410X300	539 ~ 968	0 ~ +305
250 型	510X380	675 ~ 1211	0 ~ +381
300 型	610X460	811 ~ 1454	0 ~ +457

※ 映像のゆがみを補正したときは、投写画面サイズが小さくなる場合があります。

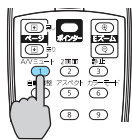
投写映像を調整する ●初めて設置するときや、持ち運んでお使いになるときに●

リモコンをお使いになる前に同梱の電池をセットしてください。

👉『取扱説明書』「リモコン」

■ 投写映像を天吊モードに切り替える

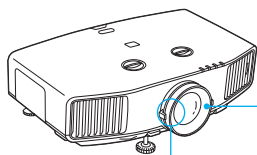
本機を天吊り設置したときは、投写映像の向きが適切になるように切り替えます。



AVモード
① を約 5 秒間押し続ける操作をするたびに投写映像の向きが切り替わります。

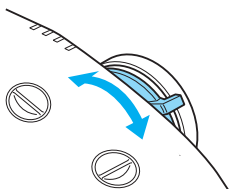


天吊り設置時は、本体操作パネルの[◀][▶][▲][▼]ボタンの操作と動作が一致するように、環境設定メニューの「拡張設定」-「動作設定」-「方向ボタン反転」をオンに設定します。




■ ズーム調整

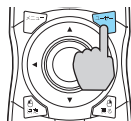
大きくなる 小さくなる





■ テストパターンの表示

テストパターンを表示させると映像機器を接続せずに投写状態を調整できます。

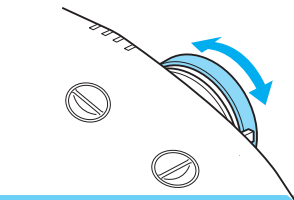
①  を押し、テストパターンが表示されます。



②  を押し、テストパターンが解除されます。

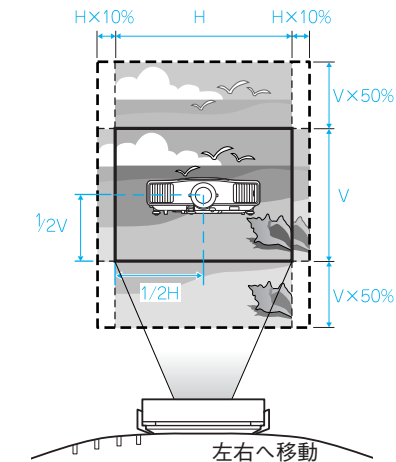
 には初期設定ではテストパターンが登録されていますが、お好みで別の機能を登録できます。変更したときは環境設定メニューからテストパターンを起動してください。👉『取扱説明書』「テストパターンを表示する」

■ ピント（フォーカス）調整



■ 投写映像の位置調整 (レンズシフト)

スクリーンの正面に本機を設置できないときや映像が下すぎるときは、レンズシフトを使い下図の範囲内で映像の位置を上下左右に移動できます。



基準投写位置
(レンズシフト中央時)

基準投写位置から
調整可能な移動範囲

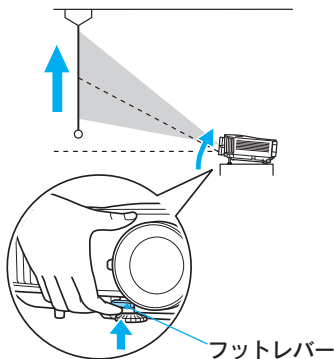
上下に移動

左右へ移動

回転させている途中でクリック感がある位置が中央になります。

※ レンズシフトダイヤルを上下、左右とも中央に合わせたときがもっとも鮮明な映像となります。

■ 映像の位置調整



レンズシフトでの調整を超えて、さらに上方方向に投写したいときはフットレバーを押してフロントフットで調節できます。

※ 本機は最大 30° まで傾けて使用できます。ただし、傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるように設置してください。

注意

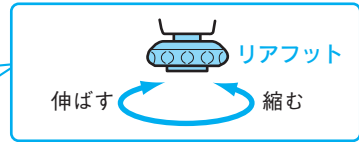
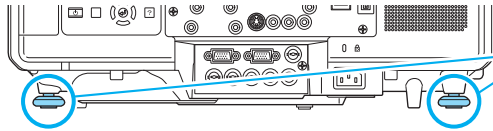
持ち運ぶときにはフロントフットを必ず収納してください。

■映像の台形ゆがみの解消

水平傾斜の調整



机上設置のときは、リアフットで本機の水平方向の傾きを調整します。

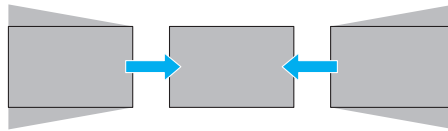


タテ方向の補正



※ スクリーンに対して本機の上下方向の傾斜角度が約 40° までであれば補正できます。

ヨコ方向の補正



※ 本機の左右方向の傾斜角度が約 20° までであれば補正できます。

Quick Corner で投写映像の 4 つのコーナーを個別に補正し、スクリーンにピッタリ合わせることがもできます。👉『取扱説明書』「Quick Corner」

タテヨコ補正は、レンズシフト位置を以下の状態にして行ってください。レンズシフト位置が以下と異なるときは正しく補正できません。

- 左右レンズシフトを中央に合わせる。
- 上下レンズシフトを最上、または最下に合わせる。



ポイント

ズームの調整値によっては正しく補正できないことがあります。また、補正を行うと投写画面サイズが小さくなる場合があります。設置の際は投写距離にご注意ください。

コンピューターと接続して投写する

接続から投写までの手順は以下のとおりです。

コンピューターとの接続の詳細は  『取扱説明書』 「映像機器との接続」

- ① 電源ケーブル（同梱品）を接続します。
- ② 本機とコンピューターをコンピューターケーブル（同梱品）で接続します。コンピューター 1 入力端子、コンピューター 2 入力端子のどちらに接続してもかまいません。



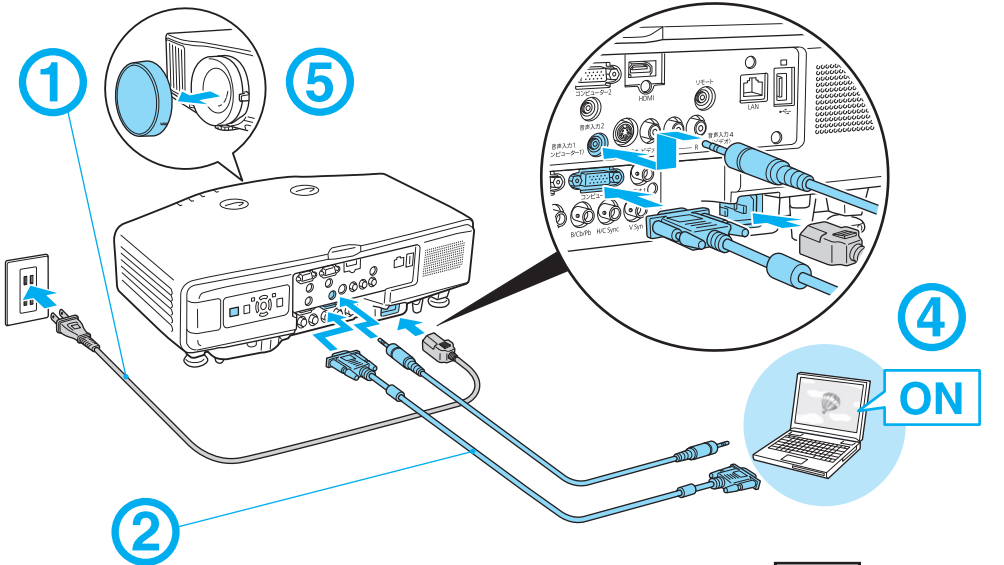
音声を出力するときは、オーディオケーブル（市販品）も接続します。

- コンピューター 1 入力端子に接続した機器の音声 → 音声入力 1 端子へ
- コンピューター 2 入力端子に接続した機器の音声 → 音声入力 2 端子へ

- ③ 本機の電源を入れます。
- ④ 接続機器の電源を入れます。
- ⑤ レンズカバーを取り外します。



投写中はレンズをのぞかないでください。

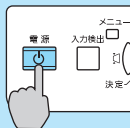


ピッ

③

操作パネルの場合



リモコンの場合



■ ノート型コンピューターの映像出力切り替え

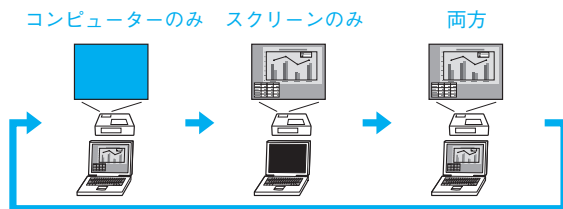
ノート型コンピューターを接続して投写するときは、映像信号の出力先を切り替えます。☞ コンピューターの取扱説明書

出力切り替えの例 (Windows の場合)

お使いのコンピューターの [Fn] キーを押したまま、CRT/LCD または  /  などの表記のあるファンクションキーを押します。



コンピューターによっては、次のように出力切り替えのキー操作を行うたびに表示状態が変わるものもあります。



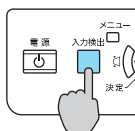
■ 映像が投写されないときは

リモコンまたは操作パネルの [入力検出] ボタンを押します。複数の機器を接続しているときは、目的の映像が投写されるまで [入力検出] ボタンを繰り返し押します。


リモコンの場合



操作パネルの場合




■ 電源を切り終了する

- ① 接続している機器の電源を切ります。
- ② リモコンまたは操作パネルの  を 2 回押します。
- ③ 「ピッ、ピッ」と鳴ったら、電源ケーブルを抜きます。
- ④ レンズカバーを取り付けます。

天吊り設置していてレンズカバーを取り外したまままで使用する場合も、レンズカバーは再輸送時に必要となりますので保管願います。

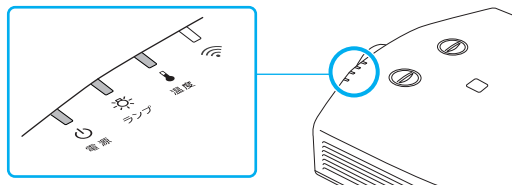


ポイント

ダイレクトシャットダウンに対応していますので、会議室など電源を集中管理している場所では、 を押さずに電源ケーブルを抜いたり、ブレーカーを落として電源を切ってもかまいません。







※ 終了後すぐに電源を入れ直したときは、投写までの時間が通常より長くなります。

インジケータの見方

















詳細は 『取扱説明書』 「困ったときに」

■ 正常動作時の インジケータの状態

<p>オレンジ</p> 	<p>スタンバイ</p> <p> を押すと投写を開始します。</p>
<p>オレンジ</p> 	<p>ネットワーク監視準備中 クールダウン中</p> <p>点滅中はすべてのボタン操作ができません。</p>
<p>緑</p> 	<p>ウォームアップ中</p> <p> を押しても無効になります。(約 30 秒間)</p>
<p>緑</p> 	<p>投写中</p> <p>通常動作中です。</p>

■ 異常／警告時のインジケータの状態

<p>赤</p>  <p>赤</p>  <p>赤</p> 	<p>内部異常</p>	<p>電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。</p>
<p>赤</p>  <p>赤</p> 	<p>ファン異常 センサー異常</p>	
<p>赤</p>  <p>赤</p>  <p>赤</p> 	<p>電源系異常 (バラスト)</p>	

 	<p>内部高温異常 約5分間そのままの状態ですタンバイ状態になるのを待ちます。</p> <p>エアフィルター風量低下異常</p>	<p>次の2点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 壁際に設置しているときは場所を移動します。 ・ エアフィルターの掃除または交換をします。
 	<p>高温警告</p>	
	<p>エアフィルター風量低下</p>	
  	<p>ランプ異常 ランプ点灯失敗 ランプカバー開放状態</p>	<p>次の3点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ランプを取り出しランプ割れを確認し、割れていなければ再セットして電源を入れます。割れているときは、お買い上げの販売店または下記の連絡先にご相談ください。 ・ ランプカバーやランプが確実に取り付けられているか確認してください。 ・ エアフィルターの掃除をしてください。
 	<p>ランプ交換勧告</p>	<p>すみやかに、新しいランプと交換してください。このまま使い続けると、ランプが破裂するおそれがあります。</p>
	<p>エアフィルター清掃通知</p>	<p>エアフィルターの掃除をしてください。</p>

※上記の対処を行ってもエラーになるときは、電源プラグをコンセントから抜きお買い上げの販売店または下記の連絡先に修理を依頼してください。

修理に関するお問い合わせ、出張修理、保守契約のお申し込み先

エプソンサービスコールセンター

050-3155-8600【受付時間】月～金曜日 9：00～17：30（祝日・弊社指定休日を除く）

※上記電話番号をご利用できない場合は、(042)511-2949 までお電話ください。

製品に関するご質問、ご相談

プロジェクターインフォメーションセンター

050-3155-7010【受付時間】 月～金曜日 9：00～20：00（祝日・弊社指定休日を除く）
土 曜日 10：00～17：00（祝日・弊社指定休日を除く）

※上記電話番号をご利用できない場合は、(042)503-1969 までお電話ください。

リモコンの使い方

各ボタンの詳細については ❶ 『取扱説明書』「リモコン」

電源をオン / オフします。

■ 環境設定メニューの操作

環境設定メニューを表示 / 終了します。

メニュー項目や設定値を選択します。

項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。

■ 映像・音量の調整

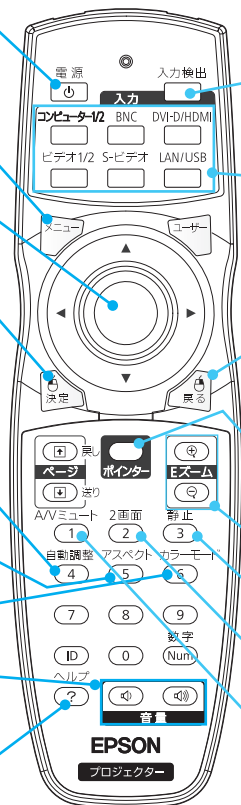
コンピューターのアナログ RGB 信号が最適に映るように自動調整します。

押すたびに映像の縦横比が切り替わります。

押すたびにカラーモード（映り具合）が切り替わります。

音量の調整を行います。

トラブルの対処方法を示すヘルプを表示 / 終了します。



■ 投写映像を切り替える

映像信号が入力されている端子からの映像に切り替えます。複数の機器を接続しているときは、目的の映像に切り替わるまで繰り返し押します。

各入力端子からの映像に直接切り替えます。

実行中の機能を終了します。（環境設定メニュー操作中は、ひとつ上の階層に戻ります。）

■ 投写を効果的にする

投写中の映像をポインターで指し示すときに押します。

映像を部分的に拡大 / （拡大した映像を）縮小します。

映像を一時停止 / 解除します。

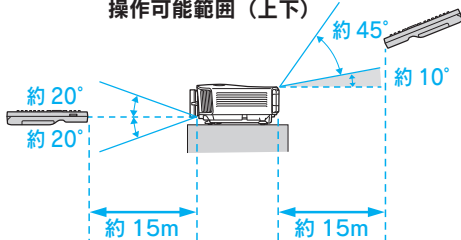
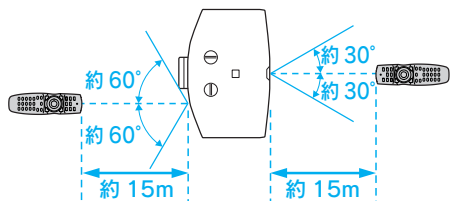
2画面の投写を開始 / 終了します。

映像と音声を一時的に消去 / 解除します。

■ リモコンの操作範囲

操作可能範囲（左右）

操作可能範囲（上下）



Printed in China
XX.XX-XX(XXX)